

思うに、漱石は金が嫌いだつたのである。つまり、生きていくには金が必要だ、だから芸術家が才能を発揮するためには金が必要ならぬ、なのに金はなかなか



金は好きで、 大嫌い

清水義範

でも、根本にある金嫌いのせいで、私はこう考えて生きている。働いて金を得ることは必要で、努力もしよう。しかし、そうではなくて、何かの利権にからむとか、うまい資産運用をしないと、とにかく、働かないで金を増やすことは金輪際望まないでおこう。そんなふうに心まで金に乗っ取られるのは、まっぴらだと思っているのである。

しみず・よしのり●作家。1947年名古屋
市生まれ。86年『蕎麦ときしめん』
で前例のないバスターシユ（様式模
写）の分野を開拓。88年『国語入試問
題必勝法』で第9回吉川英治文学新人賞
受賞。『永遠のジャック＆ベティ』『読
み違え源氏物語』など著書多数。

